

地域情報センターに消費生活センターを設置、分庁舎に

江南市議会 12月定例会が、11月24日(木)から下記の日程で開会しました。

提案された議案は、地域情報センターの建物内に消費生活センターと少年センター(適応指導教室 YOU・輝)(予定)を移設して市役所分庁舎とし、地域情報センターを廃止するための条例の整備、横田教育文化事業基金の設置・管理条例改正と特別会計の廃止、市税条例の一部改正、市立児童館の指定管理者に、ひきつづきキッズサポート江南を指定などの他、一般会計補正予算などとなっています。

12月議会の日程

11月24日(木) 開会、議案上程
11月29日(火)、30日(水)、12月1日(木) 一般質問
12月5日(月) 議案質疑
12月6日(火)~9日(金) 各常任委員会審査
12月14日(水) 最終日、討論採決、閉会

* 常任委員会は、総務、建設産業、厚生文教の順に別日開催。

党議員団の一般質問通告は

○掛布まち子議員

- ・新ごみ処理施設について
- ・次期総合計画と公共交通の充実について
- ・通学路の安全対策を



○東よしき議員

- ・住民税特別徴収通知書へのマイナンバー記載について
- ・適応指導教室(YOU・輝)について
- ・学童保育所の施設のあり方について
- ・養護老人ホームむつみについて



○森ケイ子議員

- ・施設使用料有料化の諸問題について
- ・学校のバリアフリー化など教育行政について
- ・防災対策上の水の確保について
- ・介護保険新総合事業について

通告番号は、掛布が14番、東が15番、森が16番です。3人ともに一般質問は、12月1日の予定です。詳しいことは議会事務局にお尋ねください。傍聴やネットでの視聴をよろしくお願いいたします。

党議員団研修報告 (10月5日に訪問)

リサイクル率90%の富良野市 焼却炉を廃止し資源化を追求

現在14分別のごみ収集で、リサイクル率90%。燃やさない、埋め立てないごみ処理を一貫して追求しています。

最も早く始めたのは、生ごみ分別回収・たい肥化。現在、生分解性プラスチックのごみ袋で週2回収し、近隣5市町村共同のたい肥化施設で、し尿汚泥や木皮といっしょにたい肥化し農家や市民に売却されています。

生ごみを含まない可燃ごみは、「固形燃料ごみ」と呼び分別で回収され、珍しい固形燃料化施設で固形燃料 RDF に加工し売却。札幌などの工場に運んで燃料として使用されています。生ごみを含まないので、加工に際し乾燥工程がなく非常に簡単な仕組みでしたが、運搬費用がかさむのが問題でした。(下写真)

他の資源化品目は、江南市とほぼ同様でした。

富良野市は古い焼却炉を更新せずに廃止。現在、おむつなどの衛生用品は隣の上富良野町の焼却炉で、小動物の死体は南富良野町の小動物焼却施設で焼却。灰類と陶器、ガラス類、たい肥化不



適物は、占冠村の最終処分場に埋め立てています。

富良野市で面白いのは、ごみ集積場所のことを「資源回収ステーション」と呼び、ごみ収集とは呼ばないことです。出し方の悪い袋には、遠慮せずレッドシールを張り、レッドシール枚数の地区ごとの集計も示して、徹底して分別排出を指導しています。

富良野市では今後も焼却炉をつくらず資源化の努力を続け、使用済み紙おむつのリサイクルも検討中とのことで、その揺るがぬ一貫した姿勢に頭が下がりました。

江南市は市民の協力で27分別 廃プラスチック焼却方針に戸惑いの声

江南市でも、市民の皆さんの協力を得て、「混ぜればごみ・分ければ資源」を合言葉に分別資源化の努力が粘り強く続けられ、富良野市以上に細かな27分別の資源化が行われています。生ごみ分別回収・たい肥化を行っていないため、リサイクル率は約28%です。

しかし、新ごみ処理施設整備検討委員会では、現在分別収集し固形燃料化している廃プラスチックを、新施設稼働にあわせて可燃ごみ扱いに変更することを決めました。

住民のこれまでの分別減量の努力を無にする方針変更に対し、新ごみ処理施設予定地の中般若区や市民有志から不安や戸惑い、撤回を求める声が上がっています。

しっかり根拠を示した丁寧な住民への説明、議論が必要ではないでしょうか。